

SCO - OP 国際研究セミナー 2009 祝辞

このたびのSCO - OP 国際研究セミナー 2009 の開催に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本セミナーは、昨年開催されたSCO - OP 国際セミナーに引き続き、日本、ドイツ、カナダ、韓国のスポーツ専門職と産学連携教育プログラムの現状と課題について議論を深めることを目的として開催されると伺っております。本セミナーは、国内外の大学やスポーツ産業界などで御活躍される多くの方々が一堂に会する大変意義深いものであり、主催者である鹿屋体育大学の福永学長はじめ関係の皆様には深く敬意を表します。

申し上げるまでもなく、鹿屋体育大学は、学校における体育指導者のみならず、スポーツに関する幅広い分野での指導者の養成を目的として設置された国立大学として唯一の体育系単科大学であり、昭和56年の創設以来、今日まで着実にその役割を果たしてこられました。特に法人化以降においては、我が国の体育・スポーツ分野の教育研究拠点として、従来以上に個性と特色を生かした教育研究を展開していくことが求められているものと考えております。

近年では、スポーツ分野においても高度なビジネスマネジメント能力が求められている中、鹿屋体育大学が、学生に対する新しい教育プログラムとして、スポーツビジネス分野等で活躍できる人材を養成するための実践的キャリアトレーニングプログラムの開発に取り組まれていることは、先駆的な取組として、大いに期待されるものであり、文部科学省としても、平成18年度からこうした取り組みを支援してきているところです。

本セミナーが、本事業の最終年度を締めくくるものとして、大きな成果を得ることを御期待申し上げます。

結びに、本日御参加の皆様が、本セミナーを一つの契機として連携を深められ、各方面において一層の御活躍されることをお祈り申し上げますとともに、本セミナーの主催者である鹿屋体育大学の益々の御発展を心より祈念し、ごあいさつといたします。

平成21年2月13日

文部科学省高等教育局

国立大学法人支援課企画官 蝦名喜之